

Be The Inspiration

Rotary International District 2760

インスピレーションになろう

4

2019 APR

2018-19 ガバナー月信



あなたの街でロータリーを！
あなたの街からロータリーを！

CONTENTS

- 2 …… 表紙のおはなし
- 3 …… ガバナー便り
- 5 …… ろーたリーぱっちわーく
- 9 …… 新着ニュース 他



インスピレーションになろう

表紙の おはなし

文：鈴木美仁 東三河分区分区幹事（田原パシフィックRC）



「はつたちいけ 初立池」

通水50周年を迎えた豊川用水の最終地点「^{はつたちいけ}初立池」です。
奥三河の宇連ダムから始まり、約120kmに及ぶ用水は東三河全体を、
農業・工業用・水道用水として潤しています。
4月には桜の花が皆様を迎えてくれます。



「こんどうじゅいちろう 近藤寿市郎」

豊川用水を構想し、港湾整備の重要性を訴え続けた
田原市出身の政治家。近藤寿市郎。

写真提供：水資源機構豊川用水総合事業部

国際ロータリー 第2760地区
ロータリークラブ会員の皆様へ

桜の開花も進み春爛漫の季節となってまいりました。私は季節の中で春が一番好きです。何となく心がうきうきするのです。厳しいというほどではないのですが、寒い冬の気候から解き放たれる感じが好きです。


子どもの頃の影響でしょうか、春になると新学期となり、クラス替えや新しい教科書を開くことなど、すべてが新しく始まっていくのだとの思いが、今でも私のどこかにあります。

それにも増して、唱歌や童謡などで春の訪れを歌う歌は、軽快で明るさに満ちたものが多く、口ずさむだけでも軽快さを感じます。

しかしながら、ロータリー活動は7月がスタートですので、まだ残り3か月あるのです。もう終わったようなものでしょうとのお声掛けも多くいただきますが、公式訪問、WFF、地区大会、分区のIMなどは終わりましたが、まだ、ハンブルクの国際大会やガバナーナイトなど、いろいろと活動は残っております。

周年行事の参加が、これから10クラブありますし、先報の通りビジター訪問がまだ数クラブ残っています。そして地区内に6つある女性会長のクラブへの単独訪問も、後半期に回らせていただいております。

ロータリーの女性会員の増加はRIの大きな戦略の一つです。世界では30%の比率ですが、日本では6%程度、当2760地区は4%台ですから、増強の努力をしなければと思っています。地区の戦略計画委員会や会員増強でも取り上げているテーマですので、どうすればよいかを皆で考えていこうと思っています。



とりあえず、女性会長さんのクラブにお伺いして、その雰囲気を感じ取ることが、まずは第一と考えてのことです。訪問時の例会の中で、女性幹事さんや役員、委員長の方々のご活躍も目にすることができ、いろいろな発見があります。

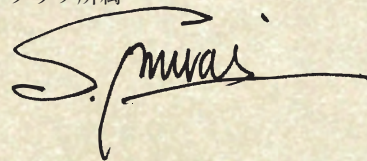
これらの体験は地区戦略計画委員会や地区会員増強で役に立てていきたいと思っております。

さて、今月は地区研修協議会が行われます。伊藤靖祐ガバナーエレクトの卓越したリーダーシップのもとに開催されるのですが、単なる会員と地区委員との顔合わせでなく、クラブの委員会の運営に役に立つ情報をお持ち帰りいただければと思っております。

クラブ内では新年度の人事の発表も始まり、地区の委員会でも新旧引き継ぎ会へと進んでゆきます。米山奨学生は終了式も終わり、今月は新しい奨学生のオリエンテーションがあり、初々しい奨学生が1年または2年間活動を始めることとなります。

春の季節の移り変わりは、ロータリー活動へも優しい温かい風を吹き込んでゆくようです。

国際ロータリー第2760地区 2018-19年度ガバナー
豊橋ロータリークラブ所属



地区ホームページは[こちら](#)

ガバナーズウェブサイトは[こちら](#)

ロータリー その19 ぱっわく 村井ガバナー的まころ

例会で歌う について考える

今回は例会で歌を歌うことについて考えてみる。

ロータリーの例会で歌を歌うことになったいきさつは、多くの会員をご存知だと思うので、ここでは簡単に説明しておくことにする。

ロータリーは既報の通り、シカゴで社交クラブとして発足した。しかし提唱者のポールハリスはカーターに入会を断られた時から奉仕に目覚めだした。しかしクラブの仲間は親睦と互惠取引のクラブだとして、ポールが奉仕の重要さを言えば言うほど反発が起き、クラブの中は、奉仕派と親睦派とは対立していった。

その時の会長ドクター・ネフは、ハリー・ラグルスという5番目にクラブに入会した会員にこう伝えたそうだ。『次の例会でポールはまた奉仕の重要さを言うだろう、そしてクラブの雰囲気はきつと悪くなる。そこで、君は歌がうまい、そうなった時には、君がリードして皆で歌を歌おうと、リードして欲しいと思うだが』と。

案の定、例会は気まずくなりかけた、その時ラグルスが椅子の上に立ち上がり、大きな声で『皆で歌を歌おう』と言った。これがロータリーの例会場で歌を歌う始まりだったといわれている。

したがって、懇親会の最後などで『手に手つないで』を歌う時には、遠慮されずにソングリーダーは椅子の上に上がってリードしてもらうのがよいと思っている。そして、ラグルスになった気持ちで、「さあみんなで歌おう！！」と叫ぶのもよいと思う。

多くのクラブでは例会でロータリーソングを歌っている。私の所属クラブである豊橋RCでは、歌謡曲や抒情歌や童謡も歌っている。前述の通りでクラブの例会の雰囲気を和らげるのが目的であるから、楽しくにこやかに歌うことでよいので、曲目は何でもよいと思っている。公式訪問でほとんどがロータリーソングの「奉仕の理想」であったが、卓話講師やビジターとして訪問した時は、私のクラブと同じく歌謡曲などを歌うクラブをたまに見かける。

ロータリーソングについては、今年度2番や3番を歌ってほしいと地区運営方針でお願いした。残念ながら「奉仕の理想」は1番のみであるが、「我らの生業」は2番まで、「それでこそロータリー」は3番までである。当地区の地区大会に来られた同期のガバナー数名が、自分の地区大会で「我らの生業」を2番まで歌うことにされたそうだ。私はロータリーソングは、2番3番の歌詞を知ったほうが良いと思うし、ロータリーとして良い内容の歌詞だと思っている。

最近では創立の若いクラブなどでは「四つのテスト」「日も風も星も」などを歌うクラブも増えているが、歴史の長いクラブでは、これらの歌に馴染みがない会員も多いようだ。

国歌「君が代」を月初めなどに歌うクラブが多いし、地区行事では点鐘後、まず初めに「君が代」を歌う。この時に、指揮者が出てこられることが多いが、いかなものだろうか。

本来国歌斉唱なので、国旗に向かって全員で歌えばよいので、国旗に向かうことなく、指揮者を向くのも変だと思っている。さらに国旗にお尻を向けての指揮もいかなものかと思う。

「君が代」はほとんどが4分音符で指揮に合わせないと歌えないほどの難しい曲ではないであろう。伴奏を担当する演奏者に対しては必要なのかもしれないが、ほとんどがピアノ伴奏か録音された伴奏である。

ロータリー以外の行事にも出るが、「君が代」で指揮者はなく、前奏に引き続きとのアナウンスですますことが多いと思う。大相撲で土俵上に指揮者が現れて歌うなど、とても想像できないが、皆さんはどう思われるであろう。

ちょっと横道に逸れたが、例会の運営に欠かせない歌を歌う時間とは、やはり皆が楽しく過ごすためにすれば良いのではと思っている。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

ろーたリー 番外編 ぱっちわく 村井ガバナー的まころ

牛とステーキについて考える

たとえ話というのは、読む人の想像力や解釈によって、取り方が変わるものである。ご批判もあると思うがガバナー個人の考えとして、表題について考えてみる。

あるグループが牛を飼育し始めた。良い牛を育てようということで、牧草や牧場、気候や個体管理などいろいろと考え、一つの飼育理念を確立していった。

そしてやがて美味しい肉牛ができ、グループの仲間うちで美味しく食べていた。

ところがある時、君たちだけで美味しい肉を食べていて、君たちはよいが他の人にも食べてもらう機会を与えないのか、と言われ本当に喜ばれる美味しい牛肉を求めて、試験的にステーキハウスを開業した。これが評判となり店舗展開を始めた。

しかし、当初のグループの仲間はメンバーが増えるにつれて、良い牛を育てるメンバーたちと、美味しい肉を皆に料理して多くの店で提供したいメンバーたちに分かれてきた。

あくまでもステーキの本質は牛そのものである、良い牛を育てることにある、とするグループと、もう多くの良い牛が育っているし、育てる理念も確立して来た。これからは、牛のブランドイメージの向上やPRだ、というグループに分かれてしまった。

つまり、牛を育てることこそ、このグループの根幹であり、金看板であると強い思いを言い続けるようになり、あくまでもステーキハウスは試験的なもので、良い牛を育てるためのフィードバックをさせるためだとの思いを強くしてきた。

ステーキハウスの全世界への発展を願うグループは、ステーキハウスをマネジメントするリーダーの養成に力を入れ、出店に補助金を出し、お店をいかに強くするかという、戦略計画なるものまで出していった。それこそが、牛を食べる人にとって良いことをしていることだとの思いをこちらも強くして進みだした。

ここから先は、見えない何かが怖くて書くのをためらうので、読者の想像力（創造力）にお任せしたい。

牛を育てるとは何か、ブランドとは何か。このグループは何をやりたいのか、についても無責任であると思うが、あえて解説はしない。目くじら立てずに友愛の精神で読み下していただきたい。

むかしケーキ職人から、美味しいケーキは材料を吟味すれば、誰でもそこそこ美味しいケーキになる、と聞いたことがある。このことが牛に当てはまるかどうかは分からないが、やはり良い牛を育てることが大切だろう。今や数多くある他ステーキハウスのグループとの違いは、良い牛を育てるプログラムを忘れずに守っていることだと思う。

RID2760 2018-19 ガバナー 村井 總一郎

新着情報をホームページ(HP)で公開しています

各種お知らせをはじめ定期配信コンテンツは、ガバナー月信発行に合わせHPにて更新します。各バックナンバーも閲覧しやすくなりました。

<https://www.rotary2760.org/g18-19/>

▼コンテンツタイトルをクリックするとリンク先PDFを開きます▼

定期配信

■ガバナー月信サイト

村井ガバナーのコンテンツやブログを掲載
メニュー>ガバナーズウェブサイト(各ページへ)

■ハイライトよねやま

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.228 2019/3/13発行

■コーディネーターNEWS

メニュー>月次報告 (PDF)
2019年4月号 2019/3発行

■財団室ニュース

メニュー>月次報告 (PDF)
2019年4月号 2019/3/28発行

■文庫通信だより

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.375 2019/2/25発行

ロータリー文庫より

これまで文庫通信につきまして、毎月25日発行しておりましたが、より厳選し、今後は隔月の「偶数月」に発行することとなりました。次号376号の発行・掲載は、4月25日(月信5月号)となります。

■風の便り

メニュー>月次報告 (PDF)
vol.7 (通刊55号) 2019/3/6発行

■会員数と出席率

メニュー>月次報告 (PDF)
※2019年3月度分は4月中旬以降の配信となります。

お知らせ・お願い

■ガバナー候補推薦について

今年度の推薦は終了しました。

■各種賞・表彰の概要について

メニュー>お知らせ

■立法案提出のお願い

今年の提出期限は終了しました。

■WFFレポート

メニュー>月次報告
WFF参加報告書をHPに公開しています。ご覧下さい。

■地区大会レポート

メニュー>月次報告
地区大会参加報告書をHPに公開しています。ご覧下さい。

■青少年交換のお願い

今年の募集は終了しました。ご協力有り難う御座いました。

活動報告/その他更新記事

「母子の健康月間」によせて

豊橋ロータリークラブ 岡村 正造
(職業分類: 病院)

ガバナーやスタッフのブログも
ガバナーズウェブサイトを更新中!

■分区内交流だより

本年度は、他クラブ例会への積極的参加を推進しています。

■地区委員会報告

20委員会全ての活動情報を
随時更新しています。



最新情報の取得はメールマガジンが便利です!
最新記事リストはメールマガジンでも配信します。リストをクリックするだけで
閲覧したいページをブラウザで展開します。是非、活用ください。

